

科目の種類	選択必修	科目名	日本史B	学 年	3	単位数	6
コ ー ス	文理特進コース						
教 科 書	山川出版社「詳説日本史改訂版」						
副 教 材	山川出版社「詳説日本史図録」						
科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> ・この科目の通史では、2年次に学んだ先史時代から安土・桃山時代につづく、近世（江戸時代）から現代までの歴史を取り扱います。演習では、文化史を含めて、全時代をカバー網羅します。 ・基本的な事から的確にとらえ、歴史全体の流れを理解し、たえずものごとを歴史的にみる態度をやしないます。 ・多くの歴史的事件の中から、21世紀をになう私たちの社会に教訓とすべきことがらを考え、明るい未来社会を築こうという意識を持てるようにします。 ・とくに演習の時間では、さまざまな角度から歴史を見つめ、歴史に対する理解をより深め、大学入試にも対応できる応用力を身につけることを目標とします。 							
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> ・通史の時間（週4時間）では教科書・資料集を中心に、講義形式で授業をすすめていきます。 ・演習の時間（週2時間）では通史に加え、文化史やテーマ史に取り組みます。講義で学んだことを定着させ、応用させるためにさまざまな学習課題にも取り組んでもらいます。 ・通史の時間には、写真・映像などを使い、それぞれの時代のイメージをつかんでもらいます。 より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜそうなったのか」「この出来事にはどんな意味があるのか」といった疑問をもつと、歴史を学ぶことが楽しくなり歴史の流れも理解しやすくなります。 ・歴史の「事実」は1つですが、歴史の「見かた」は1つではありません。いろいろな角度から歴史を考えることが、歴史への深い理解につながります。 ・歴史上の出来事を単なる過去の出来事としてみるのではなく、私たちの生き方や今の社会と関連させてみましょう。そうすれば、歴史に対する興味がわいて、知識も自然と身につけてきます。また、常日頃より新聞に目を通すこともおすすめします。 ・テレビで歴史ドラマやドキュメント番組を見たり、歴史の現場に足を運んでみるのもよいでしょう。あなたの「世界」が広がっていけば、歴史はより身近な存在になるはずです。 							
評価方法 <p>○テストについて</p> <p>歴史を理解する上での基本事項と時代を象徴する人物や出来事について出題します。教科書の基本事項、授業で話したポイントについて、その理解を問う問題です。</p> <hr/> <p>○平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の得点を中心ですが、出席状況、授業態度、授業中の質疑応答、また、小テストやレポート、ノート・プリントの整理なども加味して総合的に評価します。 							

学期	学 習 単 元	学 習 の 内 容 と ね ら い
前 期	6. 幕藩体制の確立 ② 幕藩体制の成立 7. 幕藩体制の展開 ① 幕政の安定 ② 経済の発展 ③ 元禄文化 8. 幕藩体制の動揺 ① 幕政の改革 8. 幕藩体制の動揺 ② 幕府の衰退 ③ 化政文化	②江戸幕府が成立する経緯について学習するとともに、幕藩体制とはどのような支配体制なのか考えます。 ・江戸幕府と諸外国との交易を学習します。幕府はなぜ鎖国を行ったのか、また鎖国は江戸時代の社会にどんな影響を与えたのか考えます。 ①なぜ武断政治から文治政治への転換が図られたのか考えるとともに、文治政治とはどんなものか学習します。 ②この時代の農業や諸産業、商業や交通・都市の発達などについて学習し、経済活動がいかに発展したかを考えます。 ③元禄文化の特徴について学習します。 ①幕府がなぜ幕政改革を行ったのか、享保の改革・田沼政治・寛政の改革とはどのような改革であったのか学習します。 ②列強の接近や社会・経済の変化が幕府の衰えにどうかかわったかについて考えます。 ③化政文化の特徴と、江戸時代人の生活やものの考え方について学習します。
	第 1 回 定 期 考 査	
後 期	9. 近代国家の成立 ① 開国と幕末の動乱 ② 明治維新と富国強兵 ③ 立憲国家の成立と日清戦争 ④ 日露戦争と国際関係 ⑤ 近代文化の発達	① 200年以上続いた鎖国体制がどのような経緯で終わりをつげたのか学習します。 ・開国が日本の社会やその後の政局にどんな影響を与えたのか考えます。 ・幕府が滅亡していく経緯について学習します。 ②明治新政府が行った様々な事業、廃藩置県・地租改正・殖産興業・富国強兵・四民平等などそれぞれどんな意味を持つのか考えます。 ・維新政府が直面した国際問題について考えます。 ③自由民権運動がどのように展開し、また政府がこれにどう対応しながら立憲国家を成立させていったのか学習します。 ・大日本帝国憲法がどのようにして成立したのか、またこの憲法はどのようなものか学習します。 ・日清戦争はどのようにして起きたのか、またその結果が中国や日本にどんな影響を与えたのか考えます。 ④日露戦争はどのようにして起きたのか、また日露戦争後の国際関係はどうなったのか考えます。 ⑤教育の普及や交通・通信・出版などの著しい発達が、国民の手による近代文化の発展につながったことを学習します。
	第 2 回 定 期 考 査	
後 期	10. 近代日本とアジア ① 第1次世界大戦と日本 ② ワシントン体制 ③ 恐慌の時代	①第1次世界大戦がどのようにして起きたのか考え、またこれに日本はどのように対応したのか学習します。 ・大正政変と、その後の民衆運動の高揚が政治にどんな影響を与えたのか考えます。 ②第1次世界大戦後の軍縮の動きについて学習します。 ・第1次世界大戦における連合国の民主主義の提唱や、ロシア革命が日本にどんな影響を与えたか学習します。 ③戦後恐慌・震災恐慌・金融恐慌・世界恐慌・昭和恐慌と連続する恐慌は、当時の社会や政治・外交にどんな影響をもたらしたのか考えます。 ・大正から昭和の初期にかけて登場した大衆文化について学習します。
	第 3 回 定 期 考 査	
後 期	④ 軍部の台頭 ⑤ 第2次世界大戦	④満州事変や五・一五事件、三・二六事件がどのようにして起きたのか、またそれらを通じて軍部がいかに台頭していくかについて学習します。 ⑤日中全面戦争からどのような経緯で太平洋戦争に突入し、またこの戦争がどのようなかたちでおわったのか学習します。 ・長期の戦争が国民生活にどんな影響を与えたのか考えます。

1 1 . 占領下の日本

① 占領と改革

② 冷戦の開始と講和

1 2 . . 高度成長の時代

① 経済復興から高度成長へ

① GHQの占領政策と民主化政策について学習します。日本国憲法がどのようにして制定されたのか学習します。

② 冷戦の開始が日本を含めた東アジアにどのような影響を与えたのか学習します。

・サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約の調印の意味について考えます。

① 戦後の経済復興、高度経済成長、経済の国際化、生活意識や価値観の変化に注目し、日本経済の発展と国民生活の変化について考えます。